

予算特別委員会記録

1. 日時 令和8年3月4日(水)
午後1時48分 開会
午後2時15分 閉会

2. 場所 白鷹町役場 議場

3. 議題 (1) 議第27号の質疑、採決
(2) 議第28号の質疑、採決
(3) 議第29号の質疑、採決
(4) 議第30号の質疑、採決
(5) 議第31号の質疑、採決
(6) 議第32号の質疑、採決

○出席委員(11名)

2番	衣袋正人	委員	3番	横山和浩	委員
4番	竹田雅彦	委員	5番	佐々木誠司	委員
6番	丸川雅春	委員	7番	金田悟	委員
8番	笹原俊一	委員	9番	山田仁	委員
10番	関千鶴子	委員	11番	今野正明	委員
12番	遠藤幸一	委員			

○欠席委員(なし)

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

教育長	迎田浩昭
町長職務代理者 総務課長	長岡聡
税務出納課長	吉村秀昭
企画政策課長	加藤和芳
町民課長	橋本達也
健康福祉課長	永沢照美
商工観光課長	黒澤和幸
農政課長併 農業委員会事務局長	橋本秀和

林政課参与 (兼)課長	永野	徹
建設課長	菊地	智
上下水道課長	高橋 浩	之
病院事務局長	片山 正	弘
教育次長	川部 茂	樹
監査委員	小谷部	仁
総務課長補佐 兼財政係長	鈴木 秀	昭
総務課長補佐 兼総務係長	梅津 友	宏

○職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	小林	裕
補佐	大瀧 勇	祐
書記	竹田 雅紀子	

○開会の宣告

○委員長（遠藤幸一） ご参集、誠にご苦労さまです。

これより予算特別委員会を開会いたします。

出席委員は全員であります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日開催の第3回白鷹町議会定例会本会議において、本委員会に付託された令和7年度白鷹町一般会計補正予算（第9号）外5件の補正予算について審査を行います。

審査の方法は、配付の補正予算審査文書表のとおり、最初に一般会計について、令和7年度補正予算説明書の概要により説明を受け、一問一答形式で審査を行い、続いて、同様に各特別会計、事業会計の審査を行った後、議案番号順にそれぞれ採決いたします。

なお、質問される方、答弁なさる方は、それぞれ簡潔明瞭にされますよう申し添えます。

また、質問される方は、ページを示していただきたいと思います。

○議第27号の説明、質疑

○委員長（遠藤幸一） それでは、議第27号 令和7年度白鷹町一般会計補正予算（第9号）についてを議題とします。

初めに、補正予算説明書の概要について説明を求めます。長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） ご説明申し上げます。

令和7年度補正予算説明書の概要2ページをご覧ください。

一般会計の概要を申し上げます。

今回の補正につきましては、人口減少や物価高の影響を受ける病院事業への追加支援をはじめ、国補正による物価高対応子育て応援手当の追加、山形鉄道再構築事業に対応するほか、物価高への追加対応、実績見込み等による各事業の整理を図るものでございます。

加えて、次年度に向け財政調整基金、減債基金への元金積立てを行うものでございます。

歳入でございます。款、補正額、主な内容をご説明申し上げます。

10款地方交付税、1億2,000万円、令和7年度の普通交付税算定結果に基づく増額補正でございます。

14款国庫支出金、1,435万4,000円の減額、障がい福祉サービス費負担金、567万1,000円、3つ下がっていただきまして、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、864万円、3つ下がっていただきまして、学校施設環境改善交付金、2,481万5,000円の減額な

どでございます。

15款県支出金、950万1,000円、障がい福祉サービス費負担金、120万9,000円、3つ下がっていただきまして、保育対策等促進事業、406万7,000円の減額、2つ下がっていただきまして、山形県地域経済活性化物価高騰対策事業補助金、1,267万1,000円などがございます。

16款財産収入、1,134万円、各種基金の運用利子の調整でございます。

17款寄附金、1億100万円、保健衛生費寄附金、1億円、教育総務費寄附金、100万円。

18款繰入金、1億7,892万9,000円、財政調整基金繰入金、1億5,000万円、2つ下がっていただきまして、須藤恒雄生涯教育推進基金繰入金、2,159万4,000円、井上壮吉生涯教育推進基金繰入金、1,004万4,000円などがございます。

19款繰越金、651万5,000円。

20款諸収入、2,038万5,000円の減額、デジタル基盤改革補助金2,139万1,000円の減額などがございます。

21款町債、2億9,700万円の減額、事業の実績等に基づく調整でございます。

歳入合計、9,554万6,000円。

3ページをご覧ください。

歳出でございます。

共通事項といたしまして人件費の調整を行うものがございます。723万1,000円の減額でございます。

続きまして、款別の概要を申し上げます。

2款総務費、1億803万1,000円、財政管理費、1,840万2,000円、減債基金元金積立等への対応でございます。2つ下がっていただきましてフラワー長井線対策費、80万円、物価高の影響を受ける山形鉄道に対する経営支援への対応でございます。山形鉄道再構築事業、2,464万円、国補正を活用した同事業推進への対応でございます。2つ下がっていただきまして、財政調整基金費、1億626万9,000円、財政調整基金元金積立等への対応でございます。2款は以上のような内容でございます。

4ページをご覧ください。

3款民生費、453万2,000円、国民健康保険特別会計繰出金、1,723万8,000円の減額のほか、主には事業実績見込み等に基づく調整であります。

5ページをご覧ください。

4款衛生費、2億8,636万5,000円、地域医療確保推進事業1億円、地域医療の確保推進に向けた基金造成への対応でございます。4つ下がっていただきまして病院経営安定緊急対策事業、1億9,850万2,000円、人口減少、物価高の影響を受ける町立病院の経営安定に向けた緊急追加支援などがございます。

5款労働費、2万6,000円、発生利子による基金の調整でございます。

6 款農林水産業費、87万7,000円、中山間地域等直接支払交付金事業、123万円、事業実績に基づく過年度償還金への対応などの事業でございます。

6 ページをご覧ください。

7 款商工費、85万6,000円の減額、若者定着奨学金返還支援事業、187万2,000円の減額、事業実績見込み等に基づく調整などがございます。

8 款土木費、1 億2,620万2,000円の減額、町道安全対策事業、1,481万9,000円の減額のほか、事業実績見込み等に基づく調整であります。

7 ページをご覧ください。

9 款消防費、749万1,000円、常備消防費、749万1,000円、事業実績見込み等に基づく一部事務組合負担金の調整でございます。

10 款教育費、1 億8,381万8,000円の減額、白鷹人育成事業3,273万5,000円、教育関連3 基金の統合に向けた基金積立等への対応でございます。3 つ下がっていただきまして、小学校施設改修事業、1 億374万円の減額、事業実績見込み（国庫不採択）に基づく調整でございます。その下、中学校グラウンド排水対策事業、1 億1,346万5,000円の減額、事業実績見込み等に基づく調整でございます。以上のような事業でございます。

11 款災害復旧費、90万円の減額、急傾斜地崩壊対策事業費、90万円の減額、事業実績見込み等に基づく調整でございます。

歳出合計、9,554万6,000円。

説明は以上でございます。

○委員長（遠藤幸一） 説明が終わりました。歳入歳出一括して質疑を行います。5 番、佐々木委員。

○5 番（佐々木誠司） 1 点お伺いいたします。

概要書の7 ページ、予算書の21 ページの教育費であります。小学校の設備改修工事ということで工事費で9,950万円、それから設計監理料で3,582万円ということで7 年度の当初予算分がそっくり減額になっておりますけれども、この減額の要因についてご説明をお願いします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） はい、お答えいたします。

こちらにつきましては小学校のトイレ洋式化の改修工事の事業費となります。国の交付金を活用しながら令和7 年度中に工事を行う予定でございましたが、申請の採択に至らなかったため、予定しておりましたトイレ改修の工事費、それから設計監理費の委託料について減額をさせていただくものでございます。

○委員長（遠藤幸一） 佐々木委員。

○5 番（佐々木誠司） 分かりました。国の予算が採択にならなかったということですが、採択にならなかった理由などについては把握しておられるのでしょうか。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） お答えいたします。

国の当初予算でなかなかハード事業に予算がつかなかったということがございまして、そのため今回は予算がつかないと国の担当者の方からはご説明をお受けしているところでございます。なお、国の交付金につきましては町にとって大変有利な財源となっております。令和8年度は補助要件が緩和され町の負担軽減が図られるというようなお話も聞いてございますので、次年度についても引き続き国への申請を行ってまいりたいと考えております。

○委員長（遠藤幸一） 佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 分かりました。令和8年度でさらに申請をしていくということでもありますけれども、採択にならなかったことを受けまして、さらには1億円を超える事業ということで大変大きな事業だと思っております。お聞きするところによりますと、小学校のトイレ、63か所を更新する予定だったとお伺いしておりますけれども、63基ですか、大分大きな事業だなと感じます。国の予算を待ってその後の発注ということになりますと、果たして単年度内で完了することができるのかというようなこともちょっと心配されますが、例えば数年に分けて実施するなどの考え方などは検討されたのか、それについてお伺いします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） お答えをいたします。

国への申請につきましては、先ほど申し上げましたとおり、現在、ハード事業についてはなかなか予算がつかないような状況だということでご説明を受けておりますので、なるべく採択の回数を1回に抑えましてその採択された交付金でできるだけ工事を行ってまいりたいと。2回、3回になりますと、なかなか採択になるのも時間がどんどんかかっていくのかなと思いますので、そのような形で工事の実施を進めてまいりたいと考えているところでございます。

○委員長（遠藤幸一） 3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 2点ほどお伺いをしたいと思います。

概要ではなくて予算書の10ページをお開きください。2款総務費の企画費における地域活性化業務委託100万円の減ということでございます。こちら都市部の企業人材の活用を図っていく取組で、地域の産業をよりよい形で創出するというか、刺激を与えるということでは大変期待しておった事業ですけれども、減額となった理由についてお伺いいたします。

○委員長（遠藤幸一） 加藤企画政策課長。

○企画政策課長（加藤和芳） お答えいたします。

この事業につきましては、委員ご指摘のとおり、都市部の企業で働いていらっしゃる

社員の方々に、地域の活性化に取り組んでいただく事業でございます。

令和7年度につきましては、以前から白鷹町と関係性があつた方と調整を行つていたのですが、その調整が整わず、この事業が実施できなかったということでございます。

以上です。

○委員長（遠藤幸一） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。

人材の情報というのは本当に貴重なものだと思います。様々な手法でその人の情報を集めていただければなと思います。

続きまして、概要の4ページをお開きください。3款民生費でございますけれども、多世代交流型の施設で外構等の環境整備300万円とございます。こちら健康福祉センターと思いますけれども、今回、様々な取組があつて大変多くの肯定的なお話をいただいております。引き続き頑張つていただきたいなと思いますが、この補正における環境整備の具体的な内容、どのようなものかお伺いたします。

○委員長（遠藤幸一） 永沢健康福祉課長。

○健康福祉課長（永沢照美） お答えいたします。

工事請負費につきましては、トレーニングルームをはじめ、多くの方に施設をご利用いただいている中で、利用者の安全確保の強化を図るために駐車場用の防犯カメラ増設などを実施したいと考えているところでございます。

また、備品購入につきましては、健康福祉センター内を高齢者の方も安全に移動できるようにシルバーカーの購入や打合せ等で利用いただけるホワイトボードの購入等、施設を様々な方に効果的に利用いただくための環境整備を行いたいと思っております。

また、町民交流スペースにピクチャーレールを設置させていただきたいということと、カフェの営業時間外にカフェの厨房に人が入らないようにするために、カフェ厨房と町民交流スペースを仕切るためのロールスクリーンの設置などを実施したいと考えておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（遠藤幸一） 第2表の繰越明許費及び第3表債務負担行為補正、さらには第4表の地方債補正に関わるものや積み残しになっているものについてございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（遠藤幸一） 質疑終結と認めます。

○議第28号の説明、質疑

○委員長（遠藤幸一） 次に進みます。議第28号 令和7年度白鷹町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。橋本町民課長。

○町民課長（橋本達也） ご説明申し上げます。

補正予算説明書の概要 8 ページをご覧ください。

国民健康保険特別会計でございます。歳入歳出それぞれ1,982万8,000円を追加補正させていただきますものでございます。

概要といたしましては、国民健康保険税及び県支出金等の調整、国民健康保険事業運営基金への積立て、直営診療施設勘定繰出金の増額等を行うものでございます。

説明は以上でございます。

○委員長（遠藤幸一） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（遠藤幸一） 質疑なしと認めます。

○議第29号の説明、質疑

○委員長（遠藤幸一） 次に進みます。議第29号 令和7年度白鷹町介護保険特別会計補正予算（第4号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。永沢健康福祉課長。

○健康福祉課長（永沢照美） ご説明申し上げます。

補正予算説明書の概要 8 ページをご覧ください。

介護保険特別会計の概要でございますが、355万円の歳入歳出の補正をさせていただきますと思っております。

国庫補助金の決定及び実績見込み等を踏まえた調整、介護給付費準備基金の運用利子の積立て等を行うものでございます。

以上でございます。

○委員長（遠藤幸一） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（遠藤幸一） 質疑なしと認めます。

○議第30号の説明、質疑

○委員長（遠藤幸一） 次に進みます。議第30号 令和7年度白鷹町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。橋本町民課長。

○町民課長（橋本達也） ご説明申し上げます。

補正予算説明書の概要 8 ページをご覧ください。

後期高齢者医療特別会計でございます。歳入歳出それぞれ395万円を追加補正させていただきますのでございます。

概要といたしましては、後期高齢者医療保険料及び繰入金の調整、後期高齢者医療広域連合納付金の増額を行うものでございます。

説明は以上でございます。

○委員長（遠藤幸一） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（遠藤幸一） 質疑なしと認めます。

○議第31号の説明、質疑

○委員長（遠藤幸一） 次に進みます。議第31号 令和7年度白鷹町下水道事業会計補正予算（第3号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。高橋上下水道課長。

○上下水道課長（高橋浩之） ご説明申し上げます。

補正予算説明書の概要8ページをご覧ください。

下水道事業会計でございます。補正額、概要についてご説明申し上げます。

収益的支出150万円、動力費及び薬品費の追加対応でございます。

以上でございます。

○委員長（遠藤幸一） 説明が終わりました。

収益的支出について質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（遠藤幸一） 質疑なしと認めます。

○議第32号の説明、質疑

○委員長（遠藤幸一） 次に進みます。議第32号 令和7年度白鷹町立病院事業会計補正予算（第4号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。片山病院事務局長。

○病院事務局長（片山正弘） ご説明申し上げます。

補正予算説明書の概要8ページをご覧ください。

病院事業会計でございます。収益的支出1,367万円、主な内容といたしましては、物価高騰に伴う委託料等の調整及び実績見込みに基づく支払利息への対応を行うものでございます。

内訳につきましては、医業費用1,100万円増、医業外費用267万円増等でございます。

以上でございます。

○委員長（遠藤幸一） 説明が終わりました。
収益的収支、資本的支出、一括して質疑を行います。
〔「なし」の声あり〕

○委員長（遠藤幸一） 質疑なしと認めます。
以上で質疑を終了いたします。

○議第27号の採決

○委員長（遠藤幸一） これより採決を行います。
この採決は起立によって行います。なお、起立されない方は否決とみなします。
初めに、議第27号 令和7年度白鷹町一般会計補正予算（第9号）についてを採決を行います。
議第27号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。
〔賛成者起立〕

○委員長（遠藤幸一） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第28号の採決

○委員長（遠藤幸一） 次に、議第28号 令和7年度白鷹町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について採決を行います。
議第28号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。
〔賛成者起立〕

○委員長（遠藤幸一） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第29号の採決

○委員長（遠藤幸一） 次に、議第29号 令和7年度白鷹町介護保険特別会計補正予算（第4号）について採決を行います。
議第29号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。
〔賛成者起立〕

○委員長（遠藤幸一） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第30号の採決

○委員長（遠藤幸一） 次に、議第30号 令和7年度白鷹町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について採決を行います。

議第30号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○委員長（遠藤幸一） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第31号の採決

○委員長（遠藤幸一） 次に、議第31号 令和7年度白鷹町下水道事業会計補正予算（第3号）について採決を行います。

議第31号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○委員長（遠藤幸一） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第32号の採決

○委員長（遠藤幸一） 次に、議第32号 令和7年度白鷹町立病院事業会計補正予算（第4号）について採決を行います。

議第32号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○委員長（遠藤幸一） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長（遠藤幸一） 以上で、本予算特別委員会に付託された補正予算6件の審査が終了いたしました。

なお、委員会審査結果報告については委員長に一任いただきたいと存じますが、ご異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○委員長（遠藤幸一） ご異議がないので、審査結果報告は委員長に一任されることに決しました。

○閉会の宣告

○委員長（遠藤幸一） これをもって予算特別委員会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでした。

閉 会

〈午後2時15分〉

